

令和7年度 北九州市職員採用試験の変更点について

※ 年齢は特に記載が無い限り採用予定日(=令和8年4月1日)時点です。

1 技術区分(土木・建築・電気・機械)の採用を強化します

人材確保が困難な技術職のうち、「土木」「建築」「電気」「機械」について、春季枠の新設、受験可能年齢の引き下げ、採用猶予制度の新設を行います。

- (1) 【春季枠】(旧 先行枠)で「土木」に加え、「建築・電気・機械」の区分を新設
民間企業等の併願者も受験しやすいよう、これまでの試験日程より時期が早い区分を新設します。

試験区分	土木(専門面接)、土木(経験面接) ……継続 建築(専門面接)、建築(経験面接) 電気(専門面接)、電気(経験面接) 機械(専門面接)、機械(経験面接) } 今回新設
受験要件	専門面接区分:22歳~40歳 経験面接区分:~61歳 かつ 民間企業等の職務経験5年以上
試験時期	3月 募集、6月 最終合格発表
試験案内	3月1日公表予定
1次試験	SPI3(テストセンター方式)
2次試験	個別面接
3次試験	専門個別面接 ※プレゼン資料等を事前に提出

〈同一年度内の複数回受験(併願)の特例〉

「土木」「建築」「電気」「機械」は、次のパターンで同一年度内の複数回受験が可能です。(いずれも同一職種内での受験に限ります。)

パターン① 【春季枠】 ⇔ 【通常枠】

パターン② 【通常枠】 ⇔ 【秋季枠】

- (例) ◎ 【春季枠】 建築(専門面接)を受験 → 【通常枠】 建築Ⅰを受験
 ◎ 【通常枠】 土木Ⅰを受験 → 【秋季枠】 土木(専門面接)を受験
 ◎ 【春季枠】 機械(専門面接)を受験 → 【通常枠】 機械Ⅱを受験
 × 【春季枠】 土木(専門面接)を受験 → 【秋季枠】 土木(専門面接)を受験
 × 【春季枠】 建築(専門面接)を受験 → 【通常枠】 電気Ⅰを受験

(2) 上級の受験可能年齢を「20歳から」に引き下げ

通常、対象区分の年齢要件の下限は受験年度当初21歳(大学4年生)ですが、これを受験年度当初20歳(平成16年4月2日～平成17年4月1日までに生まれた人)で大学3年生の人も受験可能とします。

当該受験者が合格した場合は、翌々年度(大学4年生修了後)に採用します。

〈対象区分〉

【通常枠】土木Ⅰ、建築Ⅰ、電気Ⅰ、機械Ⅰ

【秋季枠】土木(専門面接)

(3) 大学院進学者等の採用の猶予(最大2年間)

採用試験合格後に大学院への進学等を可能とするため、当初の採用予定日から2年を上限に採用を猶予します。

〈対象区分〉

【春季枠】土木(専門面接)、建築(専門面接)

電気(専門面接)、機械(専門面接)

【通常枠】土木Ⅰ、建築Ⅰ、電気Ⅰ、機械Ⅰ

【秋季枠】土木(専門面接)

2 “行政実務経験者”区分の新設等、即戦力採用を強化します

- (1) 「行政Ⅱ(行政経験)」「土木Ⅱ(行政経験)」を新設(ウェルカム区分)
 国や自治体における行政経験者を対象とした試験区分を新設します。

試験区分	行政Ⅱ(行政経験)・土木Ⅱ(行政経験)
受験資格	〈年齢要件〉 ~61歳 〈職務経験〉 国または地方公共団体の正規職員としての職務経験5年以上
試験時期	【通常枠】4~5月 募集、8月 最終合格発表
試験案内	【通常枠】4月17日公表予定
1次試験	SPI3(テストセンター方式) 個別面接(WEB形式)
2次試験	個別面接(対面形式)
採用	・原則、係員として採用します。 ・ただし、国、都道府県、政令指定都市での職務経験がある人で、希望者は、任命権者における別途選考により、前職と同等以上の職位で採用される場合があります。

(2) 「カムバック採用選考」の新設

かつて北九州市役所の正規職員として勤務し、現在は退職している人を対象とした選考を任命権者(市長)において実施します。

なお、実施時期等の詳細については、別途任命権者から公表します。

名称	カムバック採用選考
受験資格	〈年齢要件〉 受験年度当初、60歳まで 〈職務経験〉 本市の正規職員としての職務経験5年以上 かつ、本市を退職してから10年以内の人
試験時期	随時実施
選考内容	在職時の勤務状況、書類選考及び個別面接
採用	・原則、退職時と同等の職位で採用します。 ・ただし、本人の意向を確認し、任命権者における別途選考により、退職時より上位の職位で採用される場合があります。

(3) 「行政Ⅱ(民間等経験)」(旧「行政Ⅱ」)の試験内容の変更

第1次筆記試験「経験小論文」、第2次筆記試験「論述試験」を廃止し、
第1次口述試験をWEB形式で実施します。

これにより、試験会場への来場は1回のみとなります。

試験区分	行政Ⅱ(民間等経験)
受験資格	〈年齢要件〉 ~61歳 〈職務経験〉 民間企業等の職務経験5年以上
試験時期	【通常枠】4~5月 募集、8月 最終合格発表
試験案内	【通常枠】4月17日公表予定
1次試験	SPI3(テストセンター方式)
	個別面接(WEB形式)
2次試験	個別面接(対面形式)

なお、「行政(就職氷河期支援)」は「行政Ⅱ(民間等経験)」に統合します。

3 より受験しやすい試験にします

- (1) 【春季枠】(旧 先行枠) 及び【秋季枠】の第3次試験実施方法の変更
第3次試験のうち、筆記試験を廃止して来場の負担を軽減します。

試験区分	行政(プレゼン)、土木(専門面接)、土木(経験面接)等、 【春季枠】及び【秋季枠】の全ての区分
試験時期	【春季枠】3月 募集、6月 最終合格発表 【秋季枠】7~9月 募集、11月 最終合格発表
試験案内	【春季枠】3月1日公表予定 【秋季枠】7月10日公表予定
1次試験	SPI3(テストセンター方式)
2次試験	個別面接
3次試験	(行政)プレゼン+個別面接／(技術)専門個別面接 <u>※プレゼン資料等を事前に提出</u>

- (2) 【通常枠】第2次筆記試験の廃止

上級等採用試験【通常枠】の消防士区分を除く全ての区分において、第2次筆記試験(論述試験、専門記述、設計製図、論文)を廃止します。

試験区分	行政 I (専門択一)、行政 I (小論文)等の全ての一般事務員 土木 I II・建築 I II等、全ての一般技術員、獣医師、保健師 等
試験時期	【通常枠】4~5月 募集、8月 最終合格発表
試験案内	【通常枠】4月17日公表予定
1次試験	教養試験(択一式)または SPI3
	専門試験(択一式) 等
	個別面接
2次試験	個別面接

(3) 「社会福祉Ⅰ」「心理」「保健師」のSPI3導入など

- 第1次筆記試験を、教養試験（択一式）からSPI3に変更します。
- 第2次筆記試験（論述試験、論文）を廃止します。

試験区分	社会福祉Ⅰ ・ 心理 ・ 保健師
試験時期	【通常枠】4～5月 募集、8月 最終合格発表
試験案内	【通常枠】4月17日公表予定
1次試験	<u>SPI3(ペーパーテスト方式)</u>
	専門試験(択一式)
	個別面接
2次試験	個別面接

(4) 「保育士」の上限年齢の引き上げとSPI3の導入

- 年齢要件について、上限を35歳から45歳に引き上げます。
- 第1次筆記試験を、教養試験（択一式）からSPI3に変更します。

試験区分	保育士
受験資格	・採用時年齢 20歳～ <u>45歳</u> (35歳から引き上げ) ・保育士登録を受けている人、又は登録見込みの人
試験時期	初級等採用試験：7～8月 募集、11月 最終合格発表
試験案内	初級等採用試験：7月10日公表予定
1次試験	<u>SPI3(ペーパーテスト方式)</u>
	専門試験(択一式)
	個別面接
2次試験	作文
	個別面接

(5) 「消防士」の上限年齢の引き上げとSPI3導入区分の新設

- 上級「消防士」の上限年齢を35歳までとします。
- 消防士(SPI3)を新設します。(上級、初級とも、従来型の教養択一の区分も実施)

試験区分	〈 従来型(継続) 〉 <u>消防士(教養択一)</u>	〈 新設(追加) 〉 <u>消防士(SPI3)</u>
受験資格	上級…〈年齢要件〉22歳～35歳 初級…〈年齢要件〉18歳～21歳	
実施時期	上級…【通常枠】4～5月 募集、8月 最終合格発表 初級…7～8月 募集、11月 最終合格発表	
試験案内	上級…【通常枠】4月17日公表予定 初級…7月10日公表予定	
1次試験	教養試験(択一式)	<u>SPI3(ペーパーテスト方式)</u>
	体力テスト	
	個別面接	
2次試験	上級…小論文 ・ 初級…作文	
	個別面接	

※初級等採用試験で実施する消防士(航海)・消防士(機関)も、同様に従来型区分とSPI3導入区分を併設します。

(6) 「学校事務職員」のSPI3の導入など

- 「学校事務職員Ⅰ」の第1次筆記試験を、教養試験(択一式)から SPI3に変更します。
- 「学校事務職員Ⅱ」の「集団面接」を廃止します。

試験区分	学校事務職員Ⅰ	学校事務職員Ⅱ
試験時期	初級等採用試験:7～8月 募集、11月 最終合格発表	
試験案内	初級等採用試験:7月 10日公表予定	
1次試験	<u>SPI3(ペーパーテスト方式)</u>	論述試験
	個別面接	
2次試験	作文	
	個別面接	